

★ 令和6年度 向陽 SSH 生徒研究発表会

育て!未来の研究者

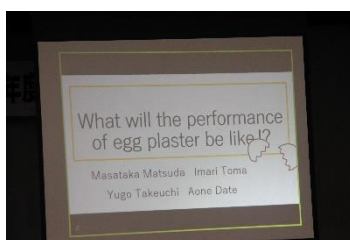


午前のポスター発表に続き、午後の部で6チームが舞台発表を行い、「京都サイエンスツアー」「台湾研修」の報告を行いました。また、発表終了後には、今年度最後の第3回運営指導委員会を視聴覚教室で開催しました。運営指導員の先生方からは、データに関して厳しい指摘と同時に中間発表からの頑張り、質疑応答の内容等について良い評価の声がありました。

スライド発表テーマ

1	n隠し〜ゲームの必勝法〜
2	琉球石灰岩による水質への影響〜雄樋川の水質調査を通して〜
3	室内農業を自動化する
4	1/fゆらぎによるイースト菌への発酵促進効果
5	プロペラの枚数と風速の関係
6	What will be the performance of eggshell plaster !? (英語)

舞台発表



運営指導委員会



○質疑応答が活発になっている。ポスター発表の際は質疑応答の時間をもっと長くするともっと盛り上がるのではないかな。○仮説に対して実証実験を行なった結果「効果がない」と結論づけた班について仮説に引っ張られず素晴らしいと思った。数学班について自分達の考えを深めていてもう少しで証明できるところまで来ている。数学分野は仮説一検証一考察の流れに乗らないようでSSHで考えると特殊なのではと思うようになってきた。○生物に関して独創的なテーマで面白かった。中間発表ではまだデータが少なかったが今回はかなりデータがそろっていて良かった。自分の仮説が反証されたとしても、それは失敗ではなく「新しい知見が得られた」という意識を持てればもっと研究が楽しめる。予想と異なる結果も大事にして欲しい。